

## 2026年度第1回粉体材料設計研究会 『粉体材料設計と芸術分野との連携』

粉体材料設計研究会は、『非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉碎の研究会』および『横浜国立大学 先進セラミックス創造研究拠点』、並びに（一社）日本粉体工業技術協会粉碎分科会との連携によって、下記のように本年度第1回研究会を開催致します。今回、粉体材料設計の分野からは、メソポーラスカーボン材料の魅力とその応用展開について、また「ものづくり」の基礎となるスラリーの微妙な調製条件が材料特性に及ぼす影響についての2件の話題を提供します。一方、芸術分野からは、岩絵の具の作り方をご紹介するとともに、粉体工学との今後の連携について考えてみたいと思います。

皆さん奮ってご参加下さいますようお願い致します。

日 時：2026年5月27日（水）13:40～16:30

場 所：横浜国立大学環境情報1号棟

横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

キャンパスマップ ([https://www.ynu.ac.jp/access/map\\_campus.html](https://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html))

共 催：非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉碎の研究会

横浜国立大学 先進セラミックス創造研究拠点

（一社）日本粉体工業技術協会粉碎分科会

参加費：無料

プログラム：

13:40～13:50 開会挨拶 (横浜国立大学大学院教授 多々見純一)

13:50～14:30 カーボンパウダーへのデザインされた細孔の導入方法とその特性紹介

(東洋炭素株式会社 エグゼクティブ・フェロー 森下隆広)

14:30～15:10 スラリー調製条件が材料特性に及ぼす影響

(大阪大学名誉教授 内藤牧男)

15:10～15:30 休憩

15:30～16:10 岩絵の具の作り方の紹介と「芸術と粉体工学」のこれから連携

(女子美術大学名誉教授 橋本弘安)

16:10～16:30 総合討論

(横浜国立大学大学院教授 多々見純一)

問い合わせ先：横浜国立大学 多々見・飯島研究室 小池弘子

T E L 045-339-3959 e-mail : h-koike@ynu.ac.jp

(ご参加にあたり、事前にご連絡いただければ幸いです。)

以上